

1 研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 ～効果的なICTの活用を通して～

2 主題設定の理由

社会の在り方が劇的に変わり、先行き不透明で予測困難な時代を迎えている。「令和の日本型学校教育」の姿として、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現が示されている。それぞれの学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。そのためには、基盤的なツールとしてICTの活用が必要不可欠であり、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせていくことが必要である。

3 研究内容

①研究授業と授業研究

- ・めあてとまとめの提示（本時の学習内容を確認させ、見通しを持たせた授業の実施）
- ・振り返りシートの活用（「何を学んだか」「新たな疑問・課題」を考えさせ、主体的に学ぶ姿勢を育む）
- ・ICTの効果的な活用（個別最適な学びや協働的な学びを充実させる）

②朝学習の取組

- ・基礎基本の定着（ミライシードのドリルパークなど）
- ・読解力の向上

③ICT環境の整備

- ・Chromebookの活用（「どのような場面で」「どのようなソフトを」など）
- ・その他のICT機器の活用

④生徒アンケートの作成・実施・分析

⑤学力調査の分析

4 研究組織

○研究推進委員会

校長・教頭・研究主任・教務で組織し、
研究の計画、推進について検討し確認や修正等を行う。

○全体研究会

全教職員で組織し、研究全体に関わる内容についての協議
や共通理解の場とする。

○授業研究部

授業改善に向けての授業構想等の理論研究や指導案の書き方、
授業研究会の持ち方等について検討し提案する。

また、授業研究会の運営・進行等を行う。

○学習環境部

学習の場としてふさわしい環境づくりや学習意欲向上
のための対策等について検討し提案する。

また、生徒の実態調査を行う。

